

なぜ設置しなければならないの？

住宅火災による死者は、平成15年から1,000人を超えています。また、近年の火災による死者数(放火自殺者を除く。)の死亡に至った経過をみると、50パーセント以上が逃げ遅れによるものとなっています。

●住宅火災の死者数の推移

※死者数は放火自殺者等を除いたもの
※高齢者のデータは統計局ホームページから



総務省消防庁 HP より

このような状況から、火災から大切な命を守るためには火災を早期に発見することが最も有効な住宅用火災警報器の設置が義務付けられるようになりました。



死亡原因の約6割が逃げ遅れ



死者の約6割が65歳以上の高齢者